

還る家とともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい……
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

～新年度スタート！～

〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-881-0348 FAX 045-392-6043

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家ともに

年が明けたと思ったら、あっという間にもう4月。新年度の幕開けです。そう、還る家ともにには今年度で9年目を迎えます。還る家ともにの昔のパンフレットをあらためて見ると『いっぱい泣いて いっぱい笑って ふれあいデイサービス 還る家ともに』というキャッチコピーが書いてありました。僕たちの日常を振り返ってみると、まさにそうなんです。いつも楽しく笑って過ごしたいと思いつつも、いい事だけということではなく、時にはつまずき、迷い、泣いて、右に左に振られながら、働いています。そんな中バタバタ・ドタバタとしながらも日々やってこられたのは、皆様の支えのあったおかげです。いつも、ありがとうございます。そして、今後ともよろしくお願い致します。もうすぐ10周年。先を見すぎず、地に足を付けて目の前のじいちゃん、ばあちゃん達とともに寄り添って過ごしていきたいと思えます。

～みなさん、一緒にお菓子作りとお茶を楽しみませんか～

下記にありますように、1月からボクたちの新たな仲間・スタッフとして信太正彦(シダマサヒコ)さんが入職しました。実は彼、お菓子作りの達人なんです。クッキーに留まらずマカロンやシブストまで作ってくれます。もちろん味も一級品。おかげでデイのおやつレベルが上がったかも(笑)

そんな信太さんと一緒におやつを一緒に作ってお茶を楽しみませんか？

参加対象としては、基本的にはデイ利用のご家族を考えていますが、ボランティアの皆様、お菓子作りやデイサービスに興味のある方など、気軽にいらして頂ければと思います。

日時:4/27(土)13時30分～15時くらい
場所:善了寺 還る家ともにのキッチン
申込:不要です。当日、お越し下さい。
参加費:無料



一応、主旨としては昨年の家族交流会がそれぞれの自己紹介のみで終わってしまう(笑)という珍事というか、私(ミネ)の司会・進行力のなさ皆様に露呈してしまいました。なので、それに代わるものという訳ではありませんが、みなさんと一緒に‘ゆるーく’‘ゆったりと’お菓子を作りながら、色々なお話や情報交換が出来る場になればと思っています。同時にデイの雰囲気も感じて、知ってもらえたら嬉しいです。皆様の参加お待ちしております。是非、お気軽にお越しくださいね。

～新しいスタッフの紹介です～

去年、身体を壊し仕事をやめてからいろいろと模索し自分はどんな仕事をしたいのか？と考えている中で福祉の仕事がしたいと思いボランティアの窓口に行きました。そこでこちらのアウトホームなデイサービス‘還る家ともに’を紹介されました。聞いていたとおり、皆様穏やかでやさしく私を包んでくれて、癒されていくのを感じる日々でした。このような環境で働けたらいいな—と思いました。そんな時期に働いてみないかと声をかけられたことは嬉しかったです。また、趣味のお菓子作りをご利用者、スタッフと楽しく一緒に出来たり、日々の生活習慣を教わりながら仕事の出来る喜びを感じています。よろしくお願いします。 信太 正彦

～園芸療法を学んで気づいたこと～

“園芸療法”って、知っていますか？

私は…お寺に来るまで全く知らない言葉でした。善了寺に来た約3年前『園芸療法のこころ』（グロッセ世津子著）という本に出会い、知るところとなりました。もともと園芸好きの両親の元で育った私、介護との深い関わりも感じ「深く学んでみたい!!」という気持ちが強くなりました。

そこで一昨年秋～入門講座、昨年4月～は社会人の園芸療法実践者を育てるクラスで学ぶ事に…。特にこの一年は毎週障害者施設に通い、座学や園芸実習、この冬は文字通り雨の日も、雪の日も実習ガーデンで泥んこになる羽目に…(>_<) でも!!とっても楽しい一年でした…京都・富山・栃木・静岡などから通ってくる仲間たち・園芸療法実践者である多くの先輩や園芸の師匠・施設で就労されている方々との出会いに、大きなエネルギーを頂きました。

園芸療法とは『植物を育てることを中心に、植物や植物が育つ環境、植物に関連する諸活動を通して、身体や精神機能の維持・回復、生活の質の向上をはかる。』（京大大学院医学研究科教授・山根寛先生による/NPO法人日本園芸療法研修会顧問）ことだそうです。これって…ボランティアさんと私たちスタッフが日頃とても自然に実践している事なのでは…!?

例えば…境内のスイセン・梅・桜などのお花見を楽しみ、季節の風を感じる事・畑の大根を収穫して食べる事・梅を収穫してシロップ作りをする事・サツマイモ蔓でリースを作る事等々…。お寺で過ごす、決して特別ではない日常の中で、植物に関わるさまざまな活動がご利用さんおひとり、お一人の笑顔を引き出すきっかけになっていたのですね(*^。^*)

机上で学んだ園芸療法は実施の一カ月前からプログラムを立てて行うものでした。もちろん、事前の計画はとても大切なものだと感じています…がその時々“ライブ感”～利用者さんおひとり、お一人のココロやカラダの状態に～を大切に“お寺流の園芸療法(?)”の実践で…これからも益々お寺のデイに集う人たちにとって（もちろん私自身にも!!）、居心地よい“還る家”であり続けますように…(*^_^^*)（先日、石巻のよつてがいの映像を観てますます強く心に感じた若林なのでした…）*いつもスタッフを助けてくださるボランティアの皆さま!!

本当にありがとうございます。日々感謝(*^_^^*)

若林 明子



・森井國隆さんより手作りの手さげバックをデイのみなさまにと、いただきました。裏地もついていて、生地も色々な柄があります。それぞれにどれにしようかワイワイと楽しみながら 選ばれていました。ありがとうございました。
・春のお彼岸には山下トキエさんよりおいしいおはぎを頂きました。みなさんと美味しく頂きました。御馳走様です。いつもありがとうございます。



ボランティアさん

「還る家ともに」では、日々ボランティアの皆様を支えられています。日々課の決まっていない自由な空間の中で、ひとりひとりの時間に寄り添って過ごして下さっています。

現在、調理ボランティアをしてくれる方を募集しています。興味のある方、是非ご連絡下さい。

編集後記

子供が通っている、地域のミニバスケットボールチームの来期の役員になりました。子供一人に対して役員一回というのが通例ですが、私は長男の時、下にまだ二人も子供がいて大変だろうという配慮で免除されましたから、「私はお寺の嫁で忙しいんです」ではすまされません。しかし、引き継ぎしてみると、今までの役員さんのご苦労が身にしました。今まで、役員任せで非協力的だった自分を反省しました。わが子のためと思えばこそその役員ならまだしも、コーチ陣は完全ボランティア。仕事以外で、無給で、地域のためや、家族以外の誰かのために何年間も尽力しておられる姿を見て“お寺のため、門徒さんのため、デイのため、家族のため、自分のため”と利益ばかりを大事にしている日暮らしを反省しています。

坊

中嶋芳江 秦野かねよ 安藤信子 竹中秀子
山下トキエ 西岡美都里 寺島美代 渡井敏子
朝倉好子 別府与志子 濱崎芳子 市野和歌子
弓削福子 矢口和子 秦野雅子 飯島慶子
米村正男 小寺久枝 江田峯子 中島雄子
村井ヒテ子 江尻伸子 鳥巢スエ子 牛島寛子
橋本淑子 長澤チヨ子 福寿貴美恵 犬塚照夫
松村節子 秦野宣子 大金スエ子 梅本忠男
小林ミエ 林ヨシ子 松田良子 森谷ミヨシ
山田ヒロ子 増村隆 穴山よしお 乾隆子
遠藤俊男 磯路正人 内田佐知子

敬称略